

# 地材地消

～シェア製材所を通した地域木材活用の多様化～

かつての木材産業は、地域ごとに異なる加工方法や職人技術によって成り立っていた。

しかし、現在では JAS（日本農林規格）の規定により、加工寸法が標準化され、その結果、製材所は中間業者として独立した存在となっている。

私たち、この製材所を地域に開かれた場とし、地域特有の技術や加工方法を取り入れた製材を行うことで、地域の木材産業の発展を図ることができると考える。

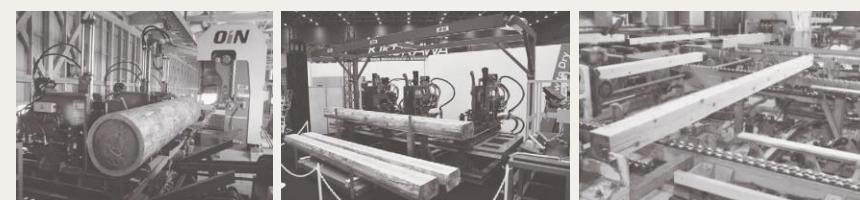
本提案では、製材所を単なる生産拠点ではなく、地域の人々や産業が交流し、技術や知識を継承する場として機能させることを目指している。さらに、標準化された加工に依存せず、地域固有の技術を生かして市場での差別化を図り、地域独自の木材産業を持続的に発展させることができると考える。

そのための、第一拠点を計画する。

この提案は、地域の伝統や文化に根ざしつつ、現代のニーズに応える持続可能な木材産業のモデルを構築し、地域全体の経済および文化の発展に貢献する。



01 背景：木材加工の標準化



戦後直後に植林された木々が成長し、柱適寸の丸太が伐採可能になると、主に 105mm 角および 120mm 角の柱材が製材されるようになった。柱材は梁材に比べて種類が少なく、在庫管理の面で製材工場にとって都合が良いため、柱挽きを専門とする工場が増加した。そんな中地域工務店は、自社で建てる建物に合わせて原本木を購入し、台車挽き製材を行っていたが、現在は製材を外部に委託する会社が増え、付加価値の高い少数生産の地域システムが失われつつある。

02 問題提起

■ 木材利用と地域産業



木材加工と木材活用を分業化したことにより、工務店の人たちが木取りをし、余った木材も活用するという意識が消失した。それと共に地域性が見られる木材活用や、地域ごとの木材活用のノウハウも消失しつつある。

■ 放置される不適寸材



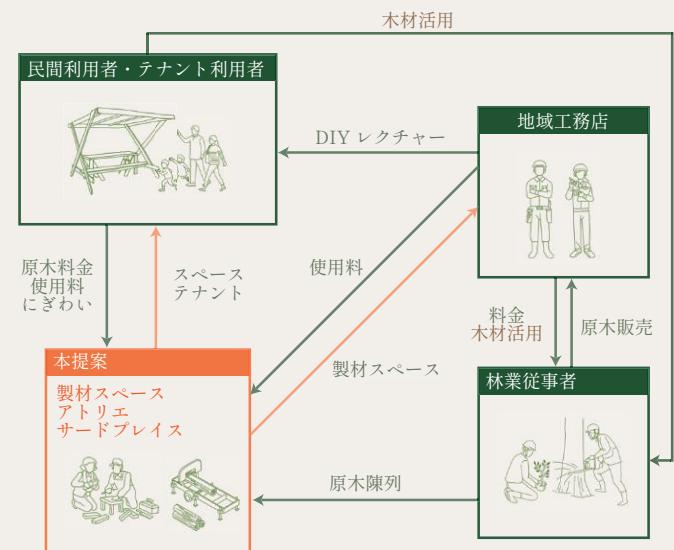
■ 民有林面積 ■ 国有林面積

戦後の住宅需要に対応して製材工場は柱材規格の大量生産設備を導入したが、伐採の遅れで大径木が増加し、現行設備では効率的に処理できず、木材資源を活用できない問題が生じている。

03 敷地：名古屋市久屋大通 南エリア



04 提案：シェア木材製材所



本提案では、愛知県名古屋市名区に位置する久屋大通公園の南エリアを提案敷地とする。本敷地は戦後に整備された都市公園の一画であり、名古屋市の都心部という特徴を活かして年間を通して賑やかなイベントが多数行われている。南エリアには船を模した巨大なオブジェがあり、待ち合わせや芝生で腰を下ろす休憩スポットとしても利用されている。

地域工務店がその場で丸太を購入し、製材できるシェア製材場を提案する。林業従事者は JAS で不適寸な原木も販売でき、森林の伐採面積が拡大する。そして、地域工務店は地域事業での適寸に製材できるため、コスト面が抑えられ、木造事業が拡大する。シェア製材場は地域住民へも開放し、五感を通して木材に触れ、良さを伝える。シェア製材場を中心に 3 者が交流して木の経済を作り出し、木材の活用意識が各地へと波及していく。

05 提案：木材活用の多様化



伐採された原本木は本敷地まで運搬され、皮剥きから加工までを一貫してシェア製材所で行う。製材されるまでの工程を行う部分は外部に開かれ見える化し、工務店や林業従事者以外の人が製材に触れる機会を創出する。敷地内で店舗事業を行いたい人や DIY をしたい人が自ら製材し、自らの手で木材を活用することで、画一的に統一された木材加工だけでなく、ニーズによって多様な木材の活用方法を見出す。

06 シェア製材所拡大フェーズ



中心地にこの施設を計画することにより、木材の活用が促進され、運搬コストの削減により各地域への類似施設が普及していく。これにより、地域ごとに木材の集積と活用が進み、県全体での木材利用が大幅に拡大するだけでなく、地元の産業振興や持続可能な森林管理の推進にも寄与する。また、木材を活用することで、地域経済の活性化や雇用創出といった社会的な効果も期待される。

07 登場人物

林業従事者



シェアスペース従業員



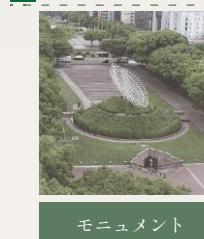
地域工務店従業員



イベント企画者



08 ひかりの広場について



モニュメント 商業空間として整備され、  
にぎわいのある北エリア

イベント時以外は閑散としている南エリア

収穫した木材がその地域に還元されているところを見て、とてもやりがいを感じます。少し運搬するのが一苦労だという姿を見て幸せを感じます！

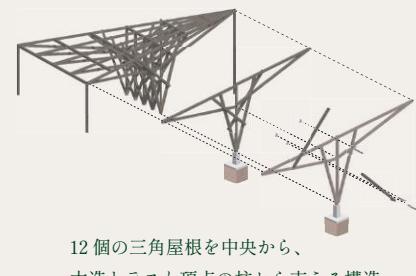
最近は製材の担当がある工務店さんが増えて、スムーズに作業できます。地元の住民や工務店、林業の方々が交流して、事業拡大できました！丸太も安く買えて良かったです。

加工が自由だから色々な場面で使えます。住宅以外にも様々な事業に活かせます。地域住民も参加してくれる人が増えて良かったです。ここを拠点とし、もっと木の良さを伝えていきたいです！

光の広場およびモニュメント、久屋大通公園南部は、当該公園がバスターミナルによって分断されていることや、魅力的な演出装置が少ないと再整備することが契機となり、1989 年に行われた設計競技の優秀作品を基に整備された。2020 年には北エリアが再整備され、商業施設と一体化しにぎわいを見せており、南エリアは未だ再整備が行われておらず、イベント時以外の恒常的なにぎわいが見られない。

## 09 構造ダイアグラム

構造部材は全て  
愛知県産 ヒノキ 120mm 角を使用

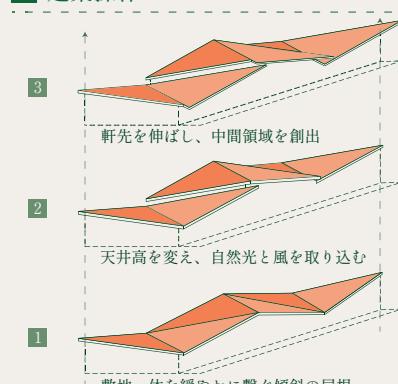


12個の三角屋根を中央から、  
木造トラスと頂点の柱から支える構造

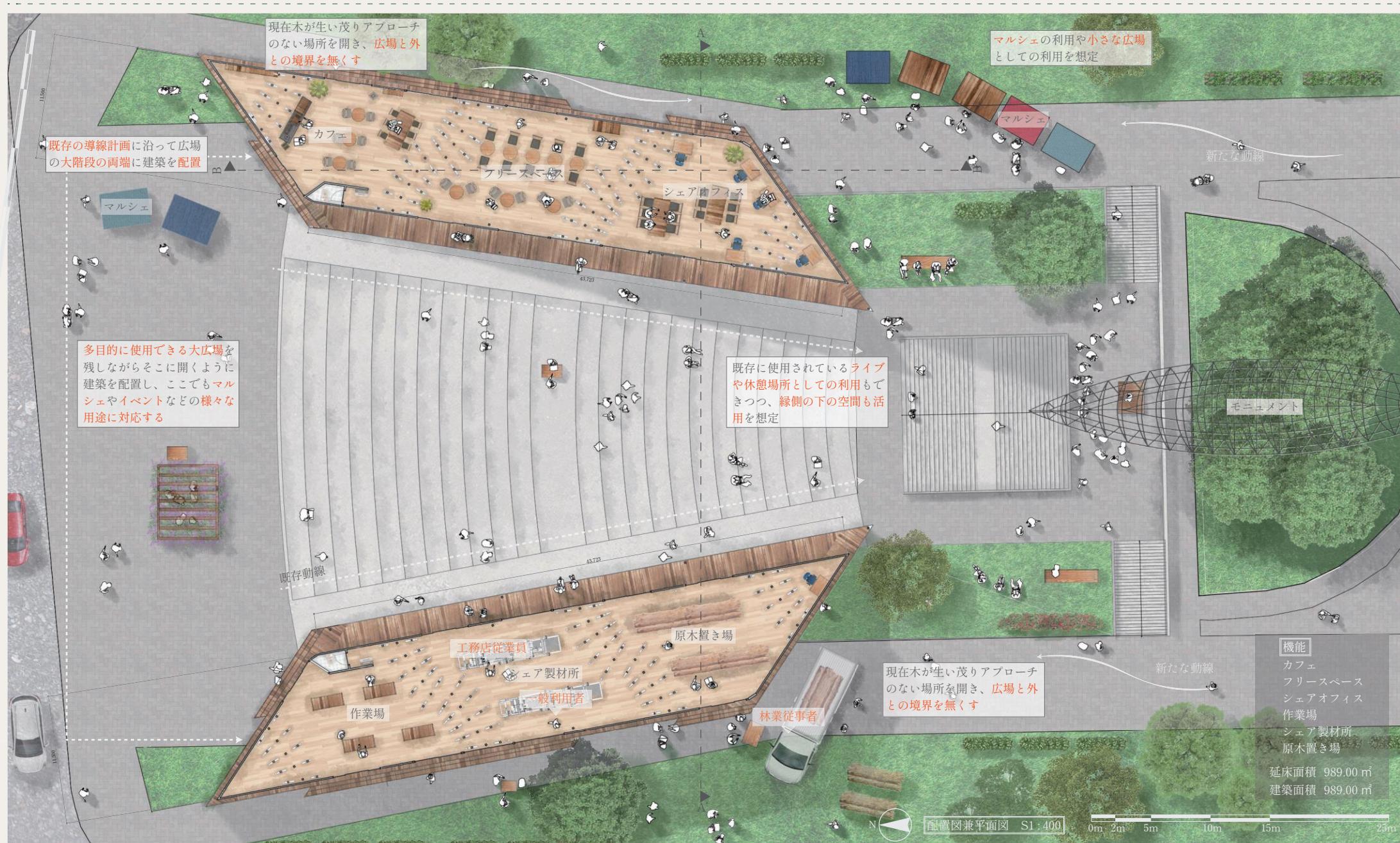
## 11 パース



## 10 建築操作



## 12 配置図兼平面図 1:400



## 13 立面図 1:400



## 14 断面図 1:400

